

ただみの今を支える人たち

有限会社さんべ農園

代表取締役

三瓶 陽太 さん



「ベ農園に入り、令和5年に父から代表を継ぎました」

——只見町で農業をやっていくことへの思いは？

「農業って、ただ作物を育てるだけじゃなくて、町の風景そのものを守る仕事だと思っんです。田んぼがあるから只見町らしい景色があるし、それを次の世代に残していく責任がある。だからこそ、続ける意味があると思っています」

——農業を次世代につなげるための取り組みは？

父三瓶清志さんからバトンを継ぎ、只見町の農業を未来へつなぐために奮闘する三瓶陽太さんにお話を伺いました。

——農業を始めたきっかけは？

「子どものころから農業には関心があ、り、大学も農学部に進みました。父から『戻るなら一度外も経験してこい』と言われていたこともあって、8年間JA全農福島に務めました。30歳の時に町へUターンして、さん

——地域との関わりは？

「『只見米ブランド協議会』という団体で『只見米フェス』を開催しています。新米の食比べや、只見高校生が考案した料理の試食など、町・農家・高校生が一緒につくるイベントです。町内の人には只見米のおいしさを再認識してもらいたいし、町外の人にも只見の魅力を伝えられたいと思っています」

——今後の目標について教えてください。

「農業は経験が大事って言われますけど、例えば米づくりは1年に1回しか経験できない。でも今は、その経験をデータとして残し活用できる技術が出てきています。やったことないから不安っていう人でも、データを基に農業ができる時代になってきている。只見町の農業を次世代につなぎ、50年、100年先まで続けていくために経験と実績を積み上げていきたいです。これからも、只見町の農業を未来につなげていきたいと思っています」

○有限会社さんべ農園

住所：只見町大倉田向19244
TEL: 0241-8612642
トマトや米の生産の他、自社生産物を素材とした、もち・青トマトジュース・米水あめ・チョコレートなどの販売も行う。販売品は季節物もあるため、要問合せ。

11月下旬～12月の

イベント情報

11月1日(土)～翌年2月28日(土)

「せど森の宴」

奥会津地域の各地で様々な体験型イベントが行われます。イベントごとに内容が異なりますので、詳細は「せど森の宴」公式WEBサイトをご覧ください。

【WEBサイト】

<https://okuzi-sedomori.com/>

(下記2次元コードからもアクセスできます)



【問合せ先】

株式会社SATORU

(TEL 050-1724-0621)

12月9日(火)、25日(木)

星空カフェ 要申込み

若者の集いの場を目的として、スポーツやゲームなど、みんなで楽しみませんか。詳細は明和公民館まで。

【時間】午後6時30分～

【場所】亀岡スポーツパーク内

【申込み】明和公民館 (TEL 0241-861211)

12月下旬

只見スキー場オープン

大自然の中の小さなスキー場。スキーやボードに限らず、雪国ならではの遊びや体験を満喫できます。

【住所】福島県南会津郡只見町只見字田ノ口24

【問合せ先】TEL 0241-8212304

